

# 福野産野菜 栽培の勧め

地産地消拡大



プランターに野菜苗を植える参加者

## 住民が苗植え体験

南砺市福野地域特産のサトイモや夏野菜の苗植え体験イベントが3日夕、同市福野軸屋の「農カフェ つなぐ」で開かれた。野菜の地産地消を広げようと、同店が地域住民に呼び掛けた。収穫された野菜は、住民を対象にした料理教室で使い、郷土料理の伝承につなげる。  
(開田直人)

「農カフェ つなぐ」は昨年10月、農産物直売所「ふくの里」内にオープンした。地場産野菜を使った軽食を販売しながら、地域の伝統的な料理や調理方法を継承している。今回のイベントは、福野産野菜を自宅で栽培し、使ってもらうことを勧めることが狙い。

この日は、福野地域の住民ら15人が参加した。大型プランターを22個用意し、サトイモのほか、トマトやキュウリなどの苗を植えた。地元農家から栽培の注意点などを教わった。一緒に植えると害虫による病気を防ぐことができる植物の選び方や、ハープの育て方について説明を受けた。

今後、収穫体験をはじめ、収穫した野菜を使った漬物教室や料理教室を予定している。同店の運営メンバーで、食育インストラクターの石坂静江さんは「自分で育てて食べる自家栽培の楽しさを知ってもらえたらうれしい」と話している。

お問い合わせは

福野販売店 0763(22)2217